医療の質・安全学会誌 第11巻 第3号

目次

【報告】
小児・周産期専門病院における患者確認遵守向上の有効性の検討......................... 279

小児専門病院において、患者確認状況の自己・相互チェックをそれぞれ計12回行った結果、患者間違
いに関する5aレベル以上の有害事象の発生をゼロに抑えることができた。

橋本 圭司 1) 宇田川 恵里子 1) 福田 珠希 1) 青木 香世 1) 小塚 和人 2)
金子 剛 1) 賀藤 均 3)
1) 国立成育医療研究センター 医療安全管理室
2) 国立成育医療研究センター 情報管理部
3) 国立成育医療研究センター 病院

多方向からのアプローチによる転倒転落事故低減に向けた取り組み ....................... 285

転倒転落防止活動は、患者のリスクアセスメントを適切に行い、多方向からの対策を複合的に実施し、
効果的な改善を行うための導入推進戦略を進めることが重要である。

鈴木 信子 1),3) 小山 優 1) 島村 弘宗 1) 澤田 真樹 1) 大川 祐子 2)
後藤 賢治 1) 関口 智子 1) 武部 昭恵 1) 武田 和憲 1) 斎藤 泰紀 2)
1) 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 医療安全管理室
2) 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター
3) 独立行政法人国立病院機構 岩手病院

薬局薬剤師が行う薬学的疑義照会に関する医師への意識調査
─薬局薬剤師への意識調査結果との比較─ .......................................................... 296

医師に対し、薬局薬剤師が行う「疑義照会」について意識調査を行った。医師は薬剤師が処方に介入
するような疑義照会を求めていることが示唆された。

鹿村 恵明 1),2) 針谷 峻平 2) 眞野 泰成 1) 小茂田 昌代 1) 藤野 健一 1)
上村 直樹 1) 石川 鎮清 3)
1) 東京理科大学薬学部
2) エムズ薬局
3) 自治医科大学医学教育センター

【特集】医療の質保証に資するプロフェッションのある方................................. 305

医療の質を確保・向上させるために医師組織はどうあるべきか
─医師会と弁護士会の歴史から学ぶこと─ .......................................................... 306

「日本医師会」「医師会」そして、医師と同じく高度専門職である弁護士の組織「日本弁護士連合会」「弁
護士会」の設立・加入体制の経緯から、今後の医師組織の在り方を検討する。

神里 彩子
東京大学医学科学院
プロフェッションの自律（プロフェッショナル・オートノミー）と
その「三権分立」

プロフェッショナル・オートノミーとは、「患者に提供される医療の質、医療を提供する医師の能力、
医師の職業上の品行」を保証することであり、利益相反の管理が鍵である。

野村 奥樹
金沢大学附属病院 総合診療部

【学会・研究会案内】
第11回 医療の質・安全学会 学術集会
「医療の質と安全のあいだ」
医療安全全国フォーラム 2016
Choosing Wisely Japan キックオフ・セミナー

【資料】
資料1 Press Release 平成28年7月8日
医療事故調査制度の現況報告（6月）
資料2 医療事故情報収集等事業 第45回報告書
医療事故情報収集等事業について
〜第45回報告書の内容を中心に〜

一般社団法人 医療の質・安全学会 定款 373
一般社団法人 医療の質・安全学会 入会のご案内 379
「医療の質・安全学会誌」投稿規程 382
「医療の質・安全学会誌」執筆要項 386
「医療の質・安全学会誌」定期購読のご案内 391

編集後記 393